

## みずほCustomer Desk Report 2024/03/14 号 (As of 2024/03/13)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	147.50
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	147.62	1.0929	161.19	1.2796	0.6607
SYD-NY High	148.05	1.0963	161.93	1.2811	0.6635
SYD-NY Low	147.24	1.0920	160.93	1.2775	0.6601
NY 5:00 PM	147.76	1.0949	161.77	1.2797	0.6621

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,043.32	37.83	日本2年債	0.1900%	0.0000%
NASDAQ	16,177.77	▲ 87.87	日本10年債	0.7600%	▲ 0.0100%
S&P	5,165.31	▲ 9.96	米国2年債	4.6314%	0.0482%
日経平均	38,695.97	▲ 101.54	米国5年債	4.1925%	0.0456%
TOPIX	2,648.51	▲ 8.73	米国10年債	4.1869%	0.0371%
シゴ日経先物	38,455.00	▲ 500.00	独10年債	2.3545%	0.0295%
ロンドンFT	7,772.17	24.36	英10年債	4.0180%	0.0765%
DAX	17,961.38	▲ 3.73	豪10年債	4.0250%	0.0470%
ハンセン指数	17,082.11	▲ 11.39	USDJPY 1M Vol	8.48%	▲ 0.22%
上海総合	3,043.83	▲ 12.10	USDJPY 3M Vol	8.28%	▲ 0.10%
NY金	2,180.80	14.70	USDJPY 6M Vol	8.38%	▲ 0.11%
WTI	79.72	2.16	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.33%	Yen Call Over
CRB指数	281.09	2.77	EURJPY 3M Vol	7.72%	▲ 0.12%
ドルインデックス	102.79	▲ 0.17	EURJPY 6M Vol	7.98%	▲ 0.17%

東京	東京時間のドル円は147.62レベルでオープン。午前は春闘の満額回答が続く中、日銀政策変更の思惑から日本株が下落。ドル円もつられて147.24まで値を下げた。然し乍ら、ドル売り円買いの流れは続かず、午後に株が持ち直すと為替も一転してドル高円安基調に。147.56レベルで欧州時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、147.56レベルでオープン。米10年債利回りやクロス円の上昇を伴って148.05まで底堅く推移し、結局147.99レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2793レベルでオープン。英1月GDPが市場予想通り前回の-0.1%から0.2%に上昇したものの市場への影響は限定的。その後は方向感なく推移し、結局1.2808レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は146円台半ばでスタート。春闘の満額回答が相次ぐ中、日銀による早期政策修正の思惑が復活し、円買いが優勢となり、147.24まで下落。円買い一巡後は、米金利の上昇を横目に反発し、147.99レベルでNYオープン。本日は新規材料が乏しい中、午前中は上昇していた米金利が低下する展開が重しとなり、147.60付近まで反落。午後は低調な米30年債の入札結果や、一部で報道された「日銀が来週の会合でマイナス金利を解除するか議論する」とのヘッドラインが伝わると、一時147.46まで値を下げる。その後は徐々に買い戻され、147.76レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台前半でスタート。米金利が上昇する展開が上値を抑え、1.0930付近で上値重い推移が続く。続いて発表されたユーロ圏1月鉱工業生産は予想より悪化するも、材料視されず。その後は小幅上昇し、1.0942レベルでNYオープン。午前中は独金利が高水準で推移する展開を下値を支え、1.0940付近での推移が続く。午後は1.0963まで値を上げる場面もあったが、その後は米金利が低下幅を縮小させる動きを背景に反落し、1.0949レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 林・松本

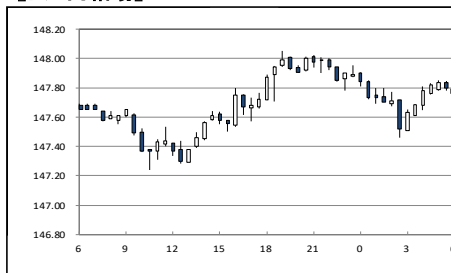
## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月13日	15:40	日 植田日銀総裁 参院予算委員会での発言	「2%目標実現見通せばマイナス金利、YCC枠組み修正検討」	

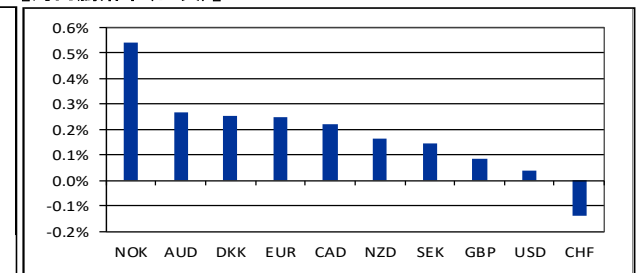
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月14日	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	2月 0.8%	-0.8%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	2月 0.5%	-0.6%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	2月 0.3%/1.2%	0.3%/0.9%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	9-Mar 218k	217k

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.20-148.50	1.0870-1.1000	160.50-162.50

## 【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は春闘交渉の集中回答の結果に関心が集まる中、来週に予定されている日銀金融政策決定会合におけるマイナス金利解除の思惑から上値重く推移していたが、岸田首相による「デフレ脱却には至っていない」との発言等を受け、その後は円売り優勢の展開となり、ドル円も148円台まで円安が進行した。しかしながら、海外時間には日銀が来週の会合でマイナス金利解除を議論とのヘッドラインを受け、一時147円台半ばまで反落の後、やや値を戻してクローズした。来週の日銀会合でマイナス金利の解除が決定されるとの見方は相応に織り込まれていると見られ、ここから先の円買い余地は限定的か。むしろ本日の米2月小売売上高や米2月PPIが上振れした場合にドル円が買い戻される動きを警戒したい。